

令和6年度 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 鈴木訓夫基金研究助成 研究成果報告書・会計報告書要項

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
プロジェクト委員会

1. 研究成果報告書（様式2）

抄録は【目的】【方法】【結果】【考察】【結語】の順に記載すること。字数制限は1000字以内とする。

また、研究成果を発表した学会と学術雑誌について記載すること。学会については学会名と開催年月と開催地を、学術雑誌については著者名と題名、雑誌名、発刊年、巻、頁を記載すること。以下に例を示す。

（学会）第40回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会（2023年2月、東京）

（学術雑誌）江川安紀子、羽入千悦子、穴澤貞夫、他：ストーマケア評価ツールとしてのストーマ管理度の提案. 日ストーマ・排泄会誌 2013; 29(3): 53-59.

提出期限は令和6年8月末日とする。

ただし研究期間が複数年にわたる場合には研究最終年度の8月末日とする。

2. 会計報告書（様式3）

様式に従い、例）を参考に記載すること。また購入や支払いを証明する領収書についてはそのコピーを提出すること。

提出期限は令和7年8月末日とする。

ただし研究期間が複数年にわたる場合には研究最終年度の8月末日とする。

3. 年次報告書（様式4）

研究期間が複数年にわたる場合に提出する。

様式に従い記載すること。提出期限は8月末日とする。

(様式2)

令和 年 月 日

令和6年度 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
鈴木訓夫基金研究助成 研究成果報告書

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
理事長 殿

以下の通り報告いたします。

研究代表者 _____
所属機関名 _____

研究課題名：

研究成果（抄録）：

【目的】

【方法】

【結果】

【考察】

【結語】

研究成果を発表した学会、および学術雑誌：

(様式3)

令和 年 月 日

令和6年度 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
鈴木訓夫基金研究助成 会計報告書

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
理事長 殿

以下の通り報告いたします。

研究代表者 _____
所属機関名 _____

機器備品・消耗品	
品名	金額
例) データ入力・解析用パーソナルコンピューター (型番〇〇)	〇〇〇,〇〇〇円
解析用コンピューターソフト (製品名: 〇〇△)	〇〇,〇〇〇円
交通費・通信費	
事項	金額
例) 学会旅費 (第〇回 JSSCR、東京、〇年〇月〇日～△日、交通費、宿泊費)	〇〇,〇〇〇円
給料手当・委託費	
事項	金額
例) データ入力補助 (日当〇〇円、〇名×〇日)	〇〇,〇〇〇円
その他 (印刷費、会議費など)	
事項	金額
例) 会議費 (貸会議室〇〇東京、〇年〇月〇日、△時間、〇名)	〇〇,〇〇〇円
合計	円

(様式4)

令和 年 月

日

令和6年度 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
鈴木訓夫基金研究助成 年次報告書

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
理事長 殿

以下の通り報告いたします。

研究代表者 _____
所属機関名 _____

研究課題名：

研究目的：

今年度の研究成果（500字以内）：

次年度以降の研究計画（500字以内）：